

カンブリア宮殿マニー株式会社放映のご案内  
- 2010年1月25日(月)10:00 ~ 10:45 東京12チャンネル -

開倫塾  
塾長 林 明夫

私が社外取締役を5年あまり務めるマニー株式会社(手術用縫合針製造、ジャスダック・Jストック。本社、宇都宮。ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャンに生産拠点)の松谷貫司会長が1月25日の人気ビジネス番組カンブリア宮殿で特集されますので、御参考までに是非御高覧下さいませようご案内申し上げます。「世界一の品質を世界のすみずみに」がマニーの合い言葉です。取締役会の模様も取材されました。

以上

テレビ東京カンブリア宮殿のホームページより引用しました。



2010年1月25日放送  
世界一しか目指さない！  
奇跡の成長を遂げた栃木の田舎企業

東京から100キロ離れた栃木県・宇都宮市。

ここにある「マニー」という名のメーカーをご存知か？

手がけるのは、名医もうなる「手術針」。国内シェアは9割。世界120カ国の医者たちから圧倒的な支持を得ている。

さらに驚くのは、売上高に占める営業利益率。デフレの勝ち組といわれるユニクロやニトリ、楽天でさえ10%台の中、マニーは約40%！なぜ栃木の田舎企業が、世界に冠たる地位を築けたのか？

この会社のトップは会長・松谷貫司(69)。

実質赤字だった会社を父親から継ぎ、どん底から驚異の急成長を成し遂げる。

そして“粘りの開発力”で、後発でも他社のシェアを続々と追い抜いてきた。

「世界一の品質しか目指さない！」「ニッチ以外はやらない！」「工場は田舎にしか建てない！」

…。

そのユニーク経営に、不況に負けない会社づくりのヒントを探る。

## マニーが世界の医者から信頼される理由

年々高度になる外科手術。人の命を預かる特殊な世界の要求に、マニーは応え続けてきた。その結果、1万種類もの手術針を揃え、その全てが“世界一”の品質を目指してつくられている。わずか数ミリの極小針でも、針先の滑りの良さを徹底追求。体内を傷つけない丸みを帯びた加工法など、その微細加工では他社の追随を許さない。さらに、針一本一本、全品を目視でチェックしているのだ。そして、極めつけが年に2回開かれる「世界一か否か会議」。他社製品も分析して、自社製品が世界一かどうかを判断するのだ。そこで認められなければ、発売中止も辞さない。そのこだわりが世界中の医者から信頼され、手術の質向上に貢献している。松谷は言う「世界一の品質を実現すれば、自ら営業しなくても売れていく。」

## すべては、針金から生まれた

マニーの商品は、手術針だけではない。歯医者で、歯の根管治療に使われる「リーマ・ファイル」、現在急増している白内障手術で使う「眼科ナイフ」などがある。これらの商品に共通しているのは、針金でできていること。実は、マニーが驚異の利益を生み出す秘密がここにあった。針金の材料費が、売り上げに占める割合は、何と約1%。針金を徹底的に磨き上げ、独創的な加工技術で価値を100倍にも高めているのだ。

## 針金屋・松谷の“粘りの哲学”とは

以前、松谷は針金加工から脱却しようとしたことがあった。40年前、手術用のメス製造に参入したのだが、それは経験のない鉄板加工で製造するものだった。似て非なる金属加工を要する「針金」と「鉄板」。結果、他社の製品を超えることができず、多額の金を使い果たして、会社を潰す寸前までいった。そのとき、松谷は自覚する「我々は針金屋なんだ！」失敗から己を学び、以来、針金加工にこだわり続けてきた。そんな松谷だからこそ語れる、不況の時代を粘り強く生きる知恵とは！

## 経歴

1940年 東京都生まれ。小学校入学前に栃木県に疎開

1959年 理化学研究所にて実験助手を1年間務める

1964年 千葉大学工学部卒業

松谷製作所（現マニー株式会社）入社

1986年 社長就任

2001年 ジャスダック上場

2007年 取締役会議長兼代表執行役会長就任